

## 第19回 国土交通中部地方有識者懇談会

日時；平成21年5月12日（火）15:00～17:00  
場所；名古屋銀行協会 5階大ホール

### 議 事 次 第

#### I. 次期まんなかビジョンについて

##### 1. 前回懇談会以降の追加事項について

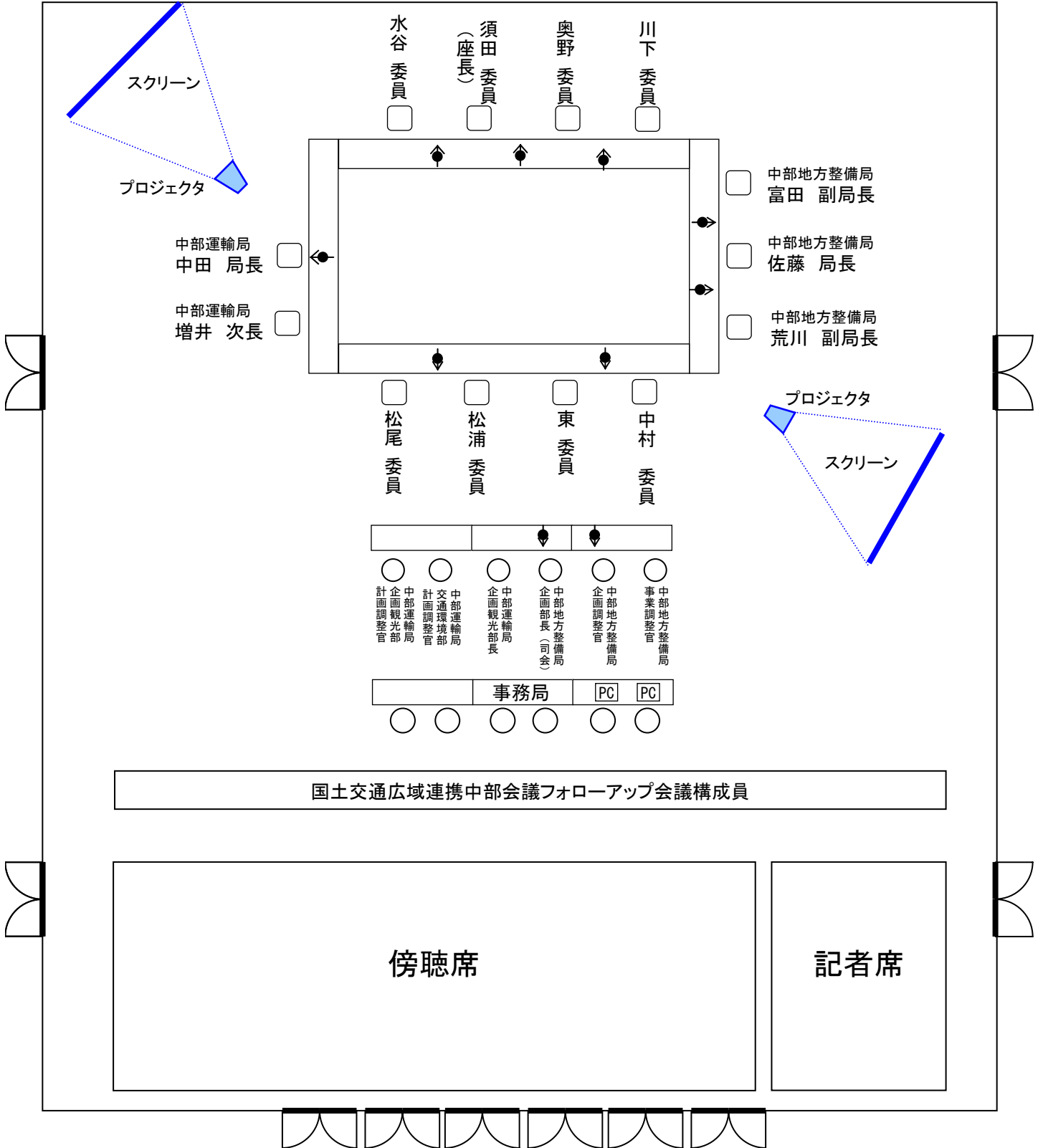
##### 2. 本懇談会の論点事項

- (1) 9つの地域の役割と発展を重視した、  
相互連携による地域づくりの方向
- (2) スピード感ある「選択と集中」による、  
平成24年度までの重点戦略と目標

#### II. その他

第19回 国土交通中部地方有識者懇談会  
 【まんなか懇談会】  
 - 配席図 -

日時：平成21年5月12日 15:00～17:00  
 場所：名古屋銀行協会 5階大ホール



第19回 国土交通中部地方有識者懇談会  
委員出席者

日時;平成21年5月12日(火)15:00~17:00  
場所;名古屋銀行協会 5階大ホール

懇談会委員 ※50音順 敬称略 ◎は座長

奥野 信宏 中京大学総合政策学部教授

加藤 幹敏 中日新聞編集局長 欠席

川下 晴久 日本政策投資銀行東海支店長

桑田 宜典 岐阜県農業共済組合連合会会長 欠席

◎ 須田 寛 東海旅客鉄道(株) 相談役

中村 幸昭 (株) 鳥羽水族館名誉館長

東 恵子 東海大学開発工学部教授

松浦 康男 (株) 静岡銀行取締役会長

松尾 稔 (財)名古屋都市センター理事長

水尾 衣里 名城大学人間学部教授 欠席

水谷 研治 中京大学名誉教授 東京福祉大学大学院教授

宮崎 直樹 トヨタ自動車(株) 常務役員 欠席

中部地方整備局

佐藤 直良 局長

富田 英治 副局長

荒川 光弘 副局長

中部運輸局

中田 徹 局長

増井 潤 局次長

# 中部圏広域地方計画とまんななかビジョン

## 中部圏広域地方計画中間整理 全体構成（抜粋）

**はじめに** 計画策定の意義／計画期間／計画区域

**中部圏を取り巻く情勢と課題**

- (1) 中部圏の地域構造と特徴
- (2) 中部圏を取り巻く時代の潮流
- (3) 中部圏の現状と課題

**中部圏の将来像 ～ 日本のまんなかから世界のまんなかへ ～**

国内外との交流・連携が全域で展開され、「日本のロータリー」として新たな価値を生み出す、個性と魅力ある圏域を形成

(2) 目指すべき中部圏の将来像

**中部圏の目指すべき姿**

- 脈わいあふれる国際交流圏・多文化共生圏
- 世界をリードする産業・技術のイノベーション圏
- 人々が生き生きと、安心して暮らすことができる持続可能な環境先進圏

**中部圏の持続的発展に向けた戦略 <分野別発展戦略>**

**中部圏の資源を活かした国内外の多様な交流の拡大**

- ・中部圏の地域経済を牽引する地域力の総合的向上
- ・中部圏の文化・歴史・自然・産業を活かした広域交流の促進
- ・世界に魅力を発信する「まんなか」国際交流圏づくり

**世界のものづくりの産業の中心地としての産業競争力の強化**

- ・ものづくり産業の国際競争力を高める基盤の強化
- ・ものづくり産業のイノベーションを促す科学技術連携の促進支援
- ・地域を支える産業の活性化、持続的発展
- ・農林水産業の活性化、持続的発展

**持続可能な環境共生社会を実現する環境先進圏の形成**

- ・豊かで多様な自然環境を継承できる圏域づくり
- ・地球温暖化防止の推進と循環型圏域づくり

**誰もが生き生きとして暮らせる地域社会の実現**

- ・暮らしやすさを実感できる生活環境の向上
- ・多様な主体による地域づくりの推進・コミュニティの再生
- ・美しく暮らすやすい農山漁村の形成

**安全・安心で災害にも強い地域づくり**

- ・適切な国土管理の推進
- ・大規模災害に対する防災力の強化
- ・災害発生時における危機管理体制の構築
- ・安全・安心な生活圏域の形成

**中部圏のリーディングプロジェクト**

名称	目的
1. ものづくり産業の競争力強化プロジェクト	基幹産業等の国際競争力強化
2. 次世代産業イノベーションプロジェクト	次世代のリーディング産業・技術の創出
3. 低炭素社会実現プロジェクト	地球温暖化対策の強化
4. いきもの共生プロジェクト	生物多様性の保全・再生・持続可能な利用
5. 国際ゲートウェイ中部プロジェクト	我が国の国際ゲートウェイの形成
6. まんなか巡り観光交流プロジェクト	中部圏の知名度の向上と国内外交流の拡大
7. 高次都市機能・連携強化プロジェクト	広域ブロック全体の活力の維持増進
8. 農山漁村の活性化プロジェクト	産業基盤・生活基盤の強化による活性化
9. 多文化共生先進圏づくりプロジェクト	我が国を先導する多文化共生圏の形成
10. 暮らしの安心・快適プロジェクト	日常生活における安心・快適対策の強化
11. 文化継承・創造プロジェクト	歴史・風土に根ざした文化の継承・創造
12. 災害克服プロジェクト	災害を克服するための対策強化
13. 三遠南信流域都市圏活力向上プロジェクト	流域都市圏の活力向上
14. 伊勢湾再生プロジェクト	流域連携による伊勢湾の再生

**はじめに** はじめに

さらなる飛躍に向けて ―これまでの「まんなかビジョン」の成果と評価―

**第1部 基本理念**

**第1章 中部地方を取り巻く情勢・課題**

1. 時代の潮流・回避すべき社会問題
2. 中部地方の特性
3. 中部地方の責務と役割
4. 中部地方の課題

**第2章 求められる将来像と政策体系**

1. 10～20年の中部地方の将来像

日本のロータリーとして、新たな価値を生み出す個性と魅力ある圏域を形成するため、中部圏広域地方計画で「日本のまんなかから世界のまんなかへ」と飛躍する

**社会資本分野**において、**今後10～20年後を見据え、「まんなか」で日本をリードする中部**を形成する。

**将来像の実現をめざしている。**

**第3章 基本的スタンス**

1. 将来像を実現するための7つの基本的スタンス
2. 住民・企業・行政の役割と協働
3. 不断のフォローアップ

**第2部 実行計画**

**第1章 10～20年後を見据えた具体的な目標**

- I. 交流が活発な中部（交流・連携）
- II. 活力ある中部（強い産業競争力）
- III. 自然と共生する中部（環境・景観）
- IV. 愛着に満ちる中部（暮らし）
- V. 災害に強い中部（安全・安心）
- VI. まんなかビジョンで創り出される将来イメージ ～ 9つの地域の将来イメージ ～

**第2章 平成24年度まで重点戦略と目標**

**中部地方の当面の戦略 ～ 選択と集中 ～**

**I. ものづくりをはじめ国際的に強い産業競争力のある地域づくり**

- 目標①港湾・空港の機能を強化し、世界的に優れた国際物流ネットワークを形成
- 目標②国内交通ネットワークを強化し、スムーズな移動を可能に
- 目標③圏内・圏外・空が一体となった高度な物流システムを構築
- 目標④ものづくりにより不可欠な水の安定確保

**II. 災害に強い安全で安心な地域づくり**

- 目標①洪水・土砂災害・高潮・雪害などや海水に強い地域を構築
- 目標②大規模な地震にも強い地域を構築
- 目標③様々な災害でも守られることのない交通体系等を構築
- 目標④災害・事故に陥る構造物・施設を災害対応体制を強化
- 目標⑤既存の社会資本ストック機能を皆替

**III. 地域資源を活かし自然と共生する環境先進地域形成**

- 目標①地球温暖化を抑制するため温室効果ガスの削減を推進
- 目標②大気環境の改善やヒートアイランドの抑制を支援
- 目標③こども・若者の発育・健全な成長を支援
- 目標④美しい自然環境を保全・創出し、多様な生態系を維持・再生
- 目標⑤健全な水循環系などを構築し、持続可能な環境を創出
- 目標⑥健康・安全・安心な生活圏域を創出
- 目標⑦独自の地域資源を保全・再生、活用した魅力ある圏域を創出

**IV. 魅力あふれる賑わいと活力ある地域づくり**

- 目標①人・モノ・情報の交流を拡大・活性化
- 目標②社会基盤整備で都市機能を高度化し、各地域の自立へ
- 目標③中山間地域や農山漁村の地域力を向上し、各地域の自立へ
- 目標④独自の地域資源を活用し、観光など地域の魅力を向上

**V. 誰もが活き活きと快適に暮らし愛着が持てる地域づくり**

- 目標①子ども・若者のびびり安全に成長できる社会の実現
- 目標②安全で住みやすい居住環境の実現
- 目標③快適で安全に暮らす生活圏の実現
- 目標④ユニバースネットワーク社会に対応した情報提供
- 目標⑤誇りや愛着を持てる協働・参加型の地域づくりを支援

**VI. 様々な地域の主なプロジェクト**

～ 9つの地域で展開する主要事業 ～

## 資料1

# 次期まんなかビジョン本編【抜粋】

(まんなか懇談会資料)

## 目次

### 1. 前回(18回)懇談会以降の一部追加事項

#### (1) ビジョンの成果と評価

※追加分: 中間評価(H18年度)以降の19年度までの総合評価

… 1ページ 本編 はじめに

#### (2) 中部地方の課題

※追加分: (1)と平成20年秋以降の経済状況を踏まえた課題整理

… 2ページ 本編 第1部 第1章4

### 2. 本懇談会の論点事項

■ これまでにご示唆頂いた意見の方向観

- ・各地域が地域力を高め、相互に連携することによって中部圏全体の発展を導くことが重要。
- ・隣接圏域と強ちに連携していくことが中部の「まんなか」たる役割。
- ・超長期を見据え引き算的な考えで、具体的な10年、5年後の計画をまとめることを念頭に。

(1) 9つの地域の役割と発展を重視した、相互連携による地域づくりの方向 本編 第2部 第1章 VI

(2) スピード感ある「選択と集中」による、平成24年度までの重点戦略と目標(アウトカム指標)…14ページ 本編 第2部 第2章 本編 第2部 第2章 I ~ VI

平成21年5月12日

資料2

## 1. 前回(18回)懇談会以降の一部追加事項

### (1) ビジョンの成果と評価

#### ※追加分: 中間評価(H18年度)以降の19年度までの総合評価

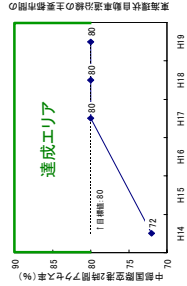
…(略)…アウトカム評価指標でチェックするとともに住民意識調査にて満足度と関心度の変化をフォローしてきました。

中部地方の将来像『日本の「まんなか」である地理的優位性を活かし、暮らし・産業が調和した、世界誇れる中部の創造力にむけ、…(略)…産業の国際競争力の強化、東海環状都市圏・環伊勢湾広域交流圏などの形成、国土の東西・南北軸の強化や交流拠点整備による国内外交流の拡大…(略)…防災、都市再生・国際化、地球環境・自然・観光・景観の各分野が概ね前進し、生活環境・対話型行政の分野では課題が散見され更なる取り組みが必要です。…(略)…

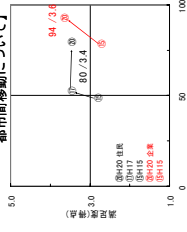
#### a) 産業競争力等に関する分野～産業・国際競争力や都市圏の形成～

…(略)…東海環状自動車道沿線への企業立地が相次ぐなど、企業活動が活発であり、企業への意識調査では満足度が増加し、「中部国際空港への2時間アクセス率」などのアウトカム指標も概ね達成していることから「モノづくりなど産業の国際競争力が強化された」…(略)…「東海環状都市間のアクセス時間短縮」のアウトカム指標が目標達成しており住民満足度も増加、新たな企業立地や観光客の増加など他地域との交流が活発となっていることから「東海環状都市圏・伊勢湾広域交流圏などの形成による新たな交流が拡大した」といえます。

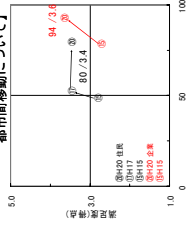
#### 【中部国際空港への2時間アクセス率】



#### 【東海環状自動車道沿線の接続する主要都市間の時間短縮】



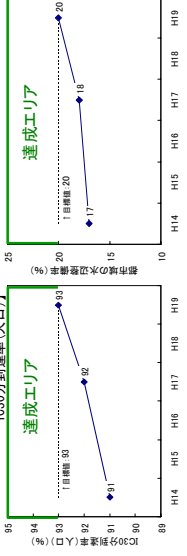
#### 【環境経済地域内の都市間移動について】



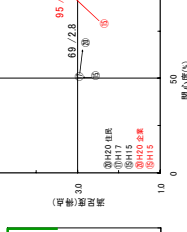
#### b) 交流・連携に関する分野～国土軸の強化、都市再生・国際化～

…(略)…「最寄りのインターチェンジへ30分到達率」などのアウトカム指標も目標達成し、他地域への移動性に関する住民満足度も増加したことから「日本のまんなかである優位性を活かし、国土の東西・南北軸の強化や交流拠点整備による国内外交流が拡大した」…(略)…都市の賑わいに関する住民満足度が低いなど一部に今後の検討が必要な項目がありますが、名古屋及び各拠点都市の魅力向上に関係して住民満足度は微増し、「都市のオープンスペースや緑の確保」、「生活環境や中心都市への移動性」などのアウトカム指標も概ね達成したことから「世界都市を目指した名古屋及び各拠点都市の魅力向上は概ね前進した」といえます。

#### 【高規格幹線道路・地域高規格道路の(C30分到達率)(人口)】



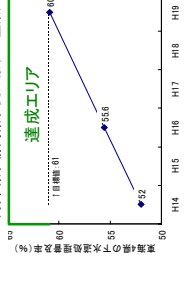
#### 【都市圏における強い海のある水辺整備】



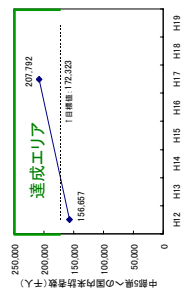
#### c) 環境・景観に関する分野～地球環境・自然・観光・景観～

…(略)…農山漁村の魅力向上など一部に今後の検討が必要な項目がありますが、「下水道処理人口普及率」などのアウトカム指標は目標値を概ね達成しており、住民満足度も増加傾向にあることから、「中部の豊かな自然環境、歴史、文化などを活かした地域づくり、観光振興は概ね前進した」といえます。

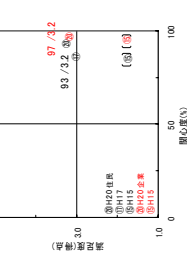
#### 【下水道処理人口普及率】



#### 【中部地方(5県)への国内来訪者数】



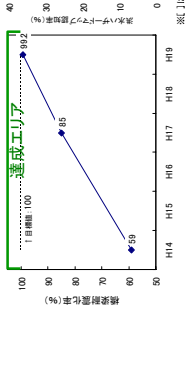
#### 【リサイクルなど循環型社会の取り組み】



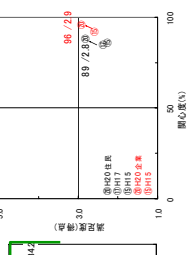
#### d) 災害対策に関する分野～安全・安心な地域づくり～

平成12年の東海豪雨災害など対して治水対策や…(略)…堤防や道路、港湾施設などの耐震強化…(略)…ハザードマップ作成の取り組みが自治体で進められるなど、防災と減災、克己の取り組みが進められました。社会資本の「耐震化率」をはじめとするアウトカム指標も概ね達成しており、災害対策に関する住民満足度は増加しているものの全体の半数程度にとどまるなど、一部に今後の検討が必要な項目がありますが「東海・東南海・南海地震をはじめとした災害に強い安全・安心な地域づくりが概ね前進した」といえます。

#### 【主要緊急輸送路の橋梁耐震化率】



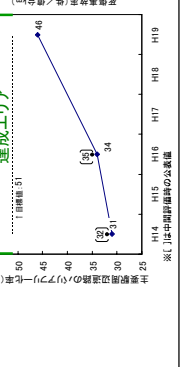
#### 【風水害などの災害対策について】



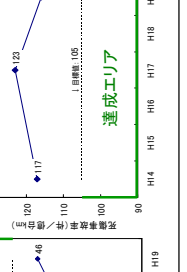
#### e) 暮らしに関する分野～生活環境・対話型行政～

住宅や官公庁施設のバリアフリー化、あしん歩行エリア…(略)…公共空間のユニバーサルデザイン化を進め、…(略)…住民とのワークショップ等によるまちづくりで住民と協働した地域づくりを進めました。「公共空間のバリアフリー化率」をはじめとするアウトカム指標も概ね達成しているものの、道路交通の死傷事故率や主要駅周辺道路のバリアフリー化など一部の目標が未達成です。また、住民満足度も増加傾向にあるものの全般的に低いことから「誰もが生き生きと暮らせる豊かでゆとりとした生活環境の実現へは課題が散見され、更なる取り組みが必要」といえます。

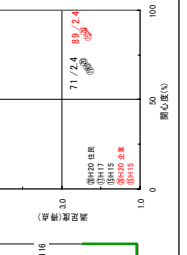
#### 【主要駅周辺道路のバリアフリー化率】



#### 【道路交通における死傷事故率】



#### 【まちづくりへの住民参加】

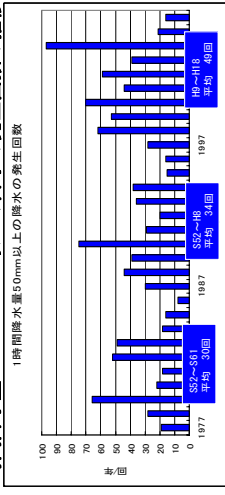


# 1. 前回(18回)懇談会以降の一部追加事項 (2) 中部地方と課題

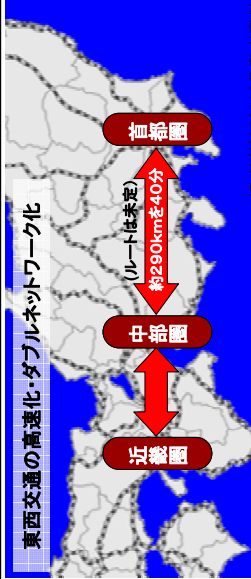
## ※追加分：(1)と平成20年秋以降の経済状況を踏まえた課題整理

(1) 巨大地震の発生や集中豪雨、台風による水害等の発生が懸念  
大規模地震の発生が懸念されている上に、台風や集中豪雨による水害、渇水などが頻発  
(略)・・・治水対策や・・・耐震対策等は着実に推進していますが、さらに進めていく必  
要・・・(略)・・・住民や企業と危機意識と適切な防災情報を共有し、各主体が自己防衛に努め  
るとともに、災害発生時の際は相互に連携・協力して迅速な救援・復旧・復興に取り組んでいくこと  
が必要・・・(略)・・・新たな課題として構造物の老朽化対策・・・(略)・・・日常における安全・安  
心の確保のため、これらの社会資本について早期発見・早期補修の予防保全を計画的に行い、  
適切に維持・管理・更新していく必要があります。こうした自然災害を想定した防災対策を総合的  
に推進し、安全・安心の地域づくりを展開していくことが課題です。

1時間降水量50mm・100mm以上の降水の発生回数



(2) 日本の大動脈を担う中部地方であるがゆえに、大規模災害による日本の経済活動の停滞懸念  
中部地方に集中する我が国の大動脈を支える・・・(略)・・・高速道路や新幹線は、・・・(略)・・・ひと  
たび被災し交通が遮断されると、多大な経済活動の停滞を引き起こす恐れがあります。  
こうしたことから、高速道路や高速鉄道の機能向上やダブルネットワーク化に取り組むとともに、地  
すべり対策事業等の自然災害防止対策を推進していく必要があります。  
・・・(略)・・・成長著しい東アジア諸国の主要都市・地域と比較して魅力ある都市・地域となっていく  
ためには、首都圏や近畿圏との機能連携を強化し、総合的な都市の魅力の向上を図っていく必要  
があります。これを実現するためにも大都市圏間の大動脈の機能向上やさらなる高速化が必要・・・  
(略)・・・このように、我が国の大動脈を守るとともに、さらに日本経済の活性化に寄与する交流軸の  
強化を図っていくことが課題です。



JR東海 '07年12月発表資料より作成

### (3) 活発な経済活動による負の遺産ともいえる様々な環境問題

中部地方の活発な経済活動による負の遺産ともいえる様々な環境問題として、工場排水や生  
活排水による海洋汚染に伴い赤潮が発生・・・(略)・・・交通集中により各所で慢性的な交通  
渋滞の発生や交通事故が多発するばかりか、温室効果ガスの排出量を増加させ、大気や騒音  
・振動など沿道環境に影響・・・(略)・・・環境への負荷を軽減し、国土の健康を回復する地域  
づくりを推進していくことが課題です。

赤潮



慢性的な



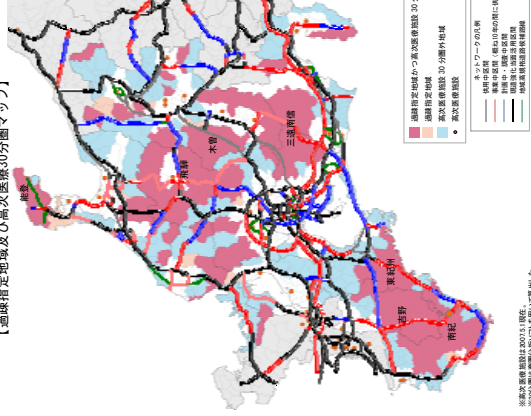
出典

出典

### (4) 渇水による水不足や、エネルギー危機

・・・(略)・・・水源となる森林が荒廃するとともに天然の水瓶が無い等の理由により、今後も渇水  
の頻発が危惧・・・(略)・・・水源の保全と渇水対策を展開していくことが必要です。  
一方、世界的なエネルギー需要が増大していく中で、中部地方が安定的にエネルギー確保で  
きる状態を構築していく必要があります。そのためには、省エネルギー対策を推進するとともに、  
化石燃料に頼らない次世代エネルギーの積極的な導入も必要となります。・・・(略)・・・

【圏域指定地域及び高次医療圏の分圏マップ】



※高次医療圏は2013年度、  
30分圏域を再編する方針を決定している。  
また、高次医療圏から30分圏域に再編する方針を決定している。  
また、高次医療圏から30分圏域に再編する方針を決定している。  
また、高次医療圏から30分圏域に再編する方針を決定している。

### (5) 地域の活力衰退と地域間格差の拡大

中部地方には消滅の危機に瀕している集落  
が多数・・・(略)・・・高次医療施設に30分  
以内に到達できない過疎地域がまとまって存  
在・・・(略)・・・公共交通機関が衰退して  
おり、豊かさを享受する都市的地域に対し、  
格差のある地域が偏在・・・(略)・・・格差  
がさらに拡大すれば、国土の管理が行き届  
かず森林の荒廃などがさらに進展することも  
懸念されます。  
・・・(略)・・・農山漁村の生活環境の総合的  
な魅力向上などに努め・・・(略)・・・都市と  
農村、上流地域と下流地域、他地域と中部  
地方など、様々な交流を展開していくことで、  
地域間格差を是正していく地域づくりを展開  
していくことが課題です。

**(6)社会の成熟化に伴うライフスタイルニルニーズの多様化**

地域コミュニティの崩壊が懸念 …… (略) …… 防災・防犯、子育てなどの面で重要で、…(略) …… 高齢者の地域貢献意欲や女性の社会進出意欲に応え、多様な人々が活躍できる地域づくりを推進していく必要があります。

一方、グローバル化の進展に伴い、…(略) …… 国籍や民族などの違いに関わらず、互いの文化的背景や考え方などを理解し、ともに安心して暮らせる活躍できる多文化共生社会を構築していくことも新たな課題です。

このように多様な主体が各々の価値観を尊重して共に生き甲斐をもって暮らしていける地域づくりが求められており、成熟社会にふさわしいライフスタイルを構築できる地域づくりが課題です。

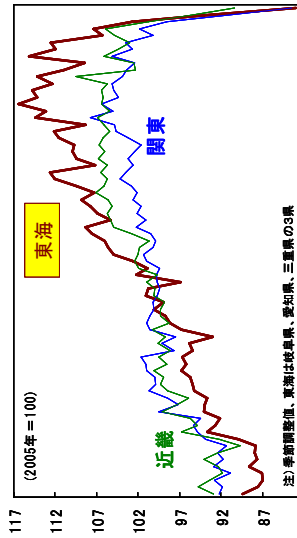
**(7)地域経済の早期回復と活況化**

…(略) …… アジア諸国やBRICs等の新興国が著しい経済成長を遂げている中で、国際競争が激化 …… (略) …… 一方、世界的な金融危機を契機に世界経済が同時に後退局面を迎えたことにより、輸出型産業は大規模な減産を余儀なくされ、これまで活況を呈してきた中部の生産、雇用、消費は一気に冷え込む状況となっています。

こうした状況を踏まえ、足元の経済や雇用状況等を踏まえて機動的かつ戦略的に公共投資を行うことにより、先行き不透明感が募る地域経済の活況化と早期回復を図るとともに国際競争力を発揮し、持続的な成長の実現を可能とする足場固めを着実に進めていくことが喫緊の課題となっています。

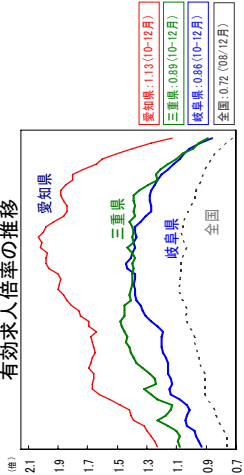
継続的な課題・新たな課題		中部地方の課題	継続的な課題	新たな課題
(1)	巨大地震の発生や集中豪雨、台風による水害等のが懸念	○自然災害に備えた地域づくり ○災害に強い地域風土と体制の構築	○社会資本の老朽化対策 ○社会資本の適切な維持・管理 ○地球温暖化に伴う気候変動に対する適応策	
(2)	日本の大動脈を担う中部地方であるがゆえに、大規模災害による日本の経済活動の停滞懸念	○様々な交通の慢性的な混雑緩和 ○気象や自然災害に対応できる高速道路や新幹線などの社会資本の機能向上やダブルネットワーク化	○三大都市圏間の機能連携強化 (大動脈の更なる高速化)	
(3)	活発な経済活動による負の遺産ともいえる様々な環境問題	○環境対策の推進 ○大気環境の汚染、生物の多様性を育む環境の破壊、海岸線の後退、生活環境の悪化、交通事故多発、慢性的な渋滞発生など	○愛・地球博の理念を継承した環境先進地域としての取り組みの展開	
(4)	渇水による水不足や、エネルギー危機	○水源保全 ○渇水対策 ○エネルギー問題への対応	○流域単位での循環型地域社会の構築	
(5)	地域の活力衰退と地域間格差の拡大 (地方の公共交通機関の衰退、観光地の衰退、過疎化、高齢化、中山間地域の活力維持、医療サービスの不均衡など、地域の活力を生み出す地域間交流や連携推進のあり方)	○地方の住環境の向上 ○都市と農山漁村の交流促進	○U・J・Tアーン者や二地域居住者の誘致	
(6)	社会の成熟化に伴うライフスタイルニルニーズの多様化	○地域コミュニティの再構築 ○高齢者や女性の活躍できる地域づくり	○多文化共生社会の構築	
(7)	地域経済の活況化と早期回復	○国際競争力の強化による持続的な経済成長を支える足場固め	○冷え込んだ経済の浮揚対策	

**鉱工業生産指数の動向**



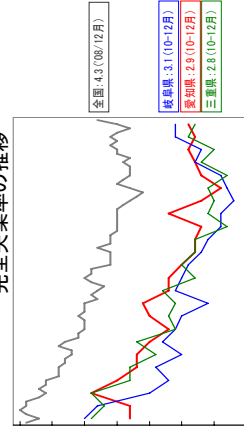
出典:各経済産業局資料

**有効求人倍率の推移**



出典:厚労省「職業安定業務統計」

**完全失業率の推移**



出典:総務省「労働力調査」



## 2. 本懇談会の論点事項

(1)9つの地域の役割と発展を重視した、相互連携による地域づくりの方向 ……本編 第2部 第1章 VI p65・115～

### VI. まんなかビジョンが創り出す将来イメージ

…(略)…

中部地方は、**日本のロータリー**としての新たな価値を生み出す個性と魅力ある圏域を形成するため、中部圏広域地方計画で「**日本のまんなかから世界のまんなかへ**」と飛翔する**将来像の実現**をめざしています。こうした中部圏の国土づくりの指針を踏まえ、**社会資本分野**においても、中部地方の現状と課題を認識の下、中部地方の特性である地勢的・社会経済的な「まんなか」を活かし、アジアをはじめとする世界の国々や国内の都市・地域と相互に**交流・連携し、活力ある強い産業競争力**の持続的な発展を遂げていくことで、我が国の経済を牽引していくことが重要です。また、経済的活力のみでなく、**安全・安心な地域づくりと環境先進性**においても国内外を先導し、世界水準の信頼を確立していくことも同時に重要です。さらに成熟社会にふさわしい**暮らし**を実践することができるとなることで、中部地方が新たなステージで持続可能な発展を遂げていくことを目指します。

こうした中、**社会資本分野においては、今後10～20年後を見据え、**

「まんなかで日本をリードする中部」を形成します。

この将来の姿を実現するには、

- ① **交流が活発な中部【交流連携】**
- ② **活力ある中部【強い産業競争力】**
- ③ **自然と共生する中部【環境景観】**
- ④ **愛着が持てる中部【暮らし】**
- ⑤ **災害に強い中部【安全安心】**

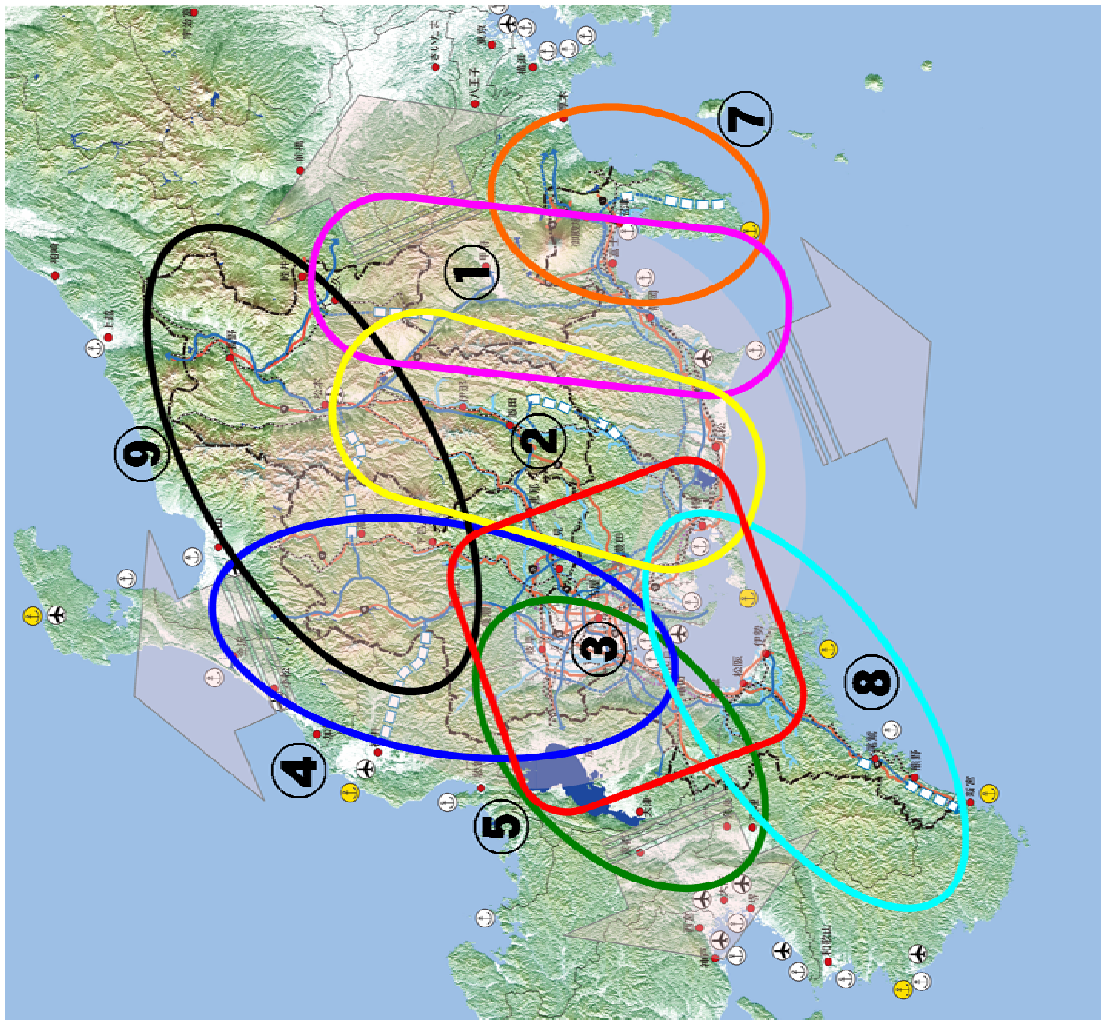
の5つの目指すべき地域づくりの方向が融合しあうことで、中部らしさを活かした世界に誇れる中部地方の創造を目指します。

### 中部地方の将来像を実現へ

中部地方の将来像の実現には、日本の「まんなか」である優位性を活かし、かつ、最先端な技術と人知、産業の集積地である中部地方の特性を最大限に発揮していくことが重要です。そのためには、我が国の東西方向、南北方向の連携、また、東アジアを含むBRICS諸国や欧米諸国との連携、さらには、首都圏や近畿圏、北陸圏と中部圏を結ぶ**様々な地域の役割と発展を重視し、相互でかつ幾層もの連携による「融合」**で、中部地方の将来像実現に向けた持続的発展を目指していきます。

### 中部地方の各地域 (案)

- ① 駿河湾沿岸から長野東部を結ぶ地域 ⑥ 伊勢湾・三河湾流域
- ② 南信から三遠を結ぶ地域 ⑦ 富士山麓と伊豆半島、丹沢周辺を結ぶ地域
- ③ 名古屋都市圏一帯を取り巻く地域 ⑧ 伊勢と紀伊半島中南部を結ぶ地域
- ④ 東海と北陸を結ぶ地域 ⑨ 飛騨と長野、北陸沿岸を結ぶ地域
- ⑤ 東海と近畿を結ぶ地域



## ①駿河湾沿岸から長野県東部を結ぶ地域(仮称)の将来イメージ

### 【地域の概要ー強みを活かし、弱みを克服すべき取組】

日本の経済活動を支える大動脈が通り、かつ、甲州地方を結ぶ長野県東部から静岡県中部は、30年以内に87%の確率で発生が危惧される東海地震の震源域に近接しているばかりか、南アルプスの山々から一気に流れる河川の氾濫、海岸浸食による高潮被害の発生等の**自然災害が懸念**される地域です。

そうした中、脆弱な地質な持つ由比地区には交通網が集中しており、地すべり対策をはじめ、**高速道路や鉄道など交通網の耐震化や代替補完機能確保**が急務となっています。また、治水対策などによる災害を克服する対策や迅速な避難計画、災害時でも経済活動を停滞させない**港湾・空港機能の強化**や業務継続計画などのハード・ソフト対策が急務です。新たな空のゲートウェイとして2009年6月に富士山静岡空港が開港した当地域において、東西大動脈の代替補完機能の確保など静岡県中部の安全安心基盤を整えた上での名古屋都市圏や首都圏、東アジアなどとの**交流活性化が重要**です。

### 【プロジェクトがもたらすべき効果と地域の将来イメージ】

高速道路や幹線道路の代替補完機能が確保され、津波や高潮災害、豪雨等による浸水対策が強化されるとともに、港湾・空港機能が強化されることにより、当地域の安全・安心基盤がより一層向上し災害に強い地域となります。その上で、日本の大動脈として産業・経済の発展を支え、被災しても寸断されない交通ネットワークが形成され、日本経済の停滞が抑制できます。また**富士山静岡空港開港により東アジアをはじめ国内外との交流が促進**され、さらに、**駿河湾沿岸から長野県東部を結ぶ南北軸の形成により、全方向的な交流・連携が活発化**します。これにより産業や観光・文化など様々な魅力が向上することが期待され、中部圏の更なる持続的発展が期待されます。

### 【不断のフォローアップによる将来イメージの達成度評価】

駿河湾沿岸から長野県東部を結ぶ地域で展開する様々なプロジェクトによる効果を、**津波・高潮や土砂災害に対する安全度や外貨貨物の増加量や観光客の増加率など国内外の物流・人流の変化といったアウトカム指標**と、住民意識(満足度)調査などにより、時代のニーズや地域の課題を常に把握しながら内容の改善、評価、見直しを常に柔軟に行っていきます。こうした過程を通じて、当地域に必要な社会資本の整備を図り、中部圏の将来像の実現をめざします。

## ②南信から三遠を結ぶ地域(仮称)の将来イメージ

### 【地域の概要－強みを活かし、弱みを克服すべき取組】

天竜川の水運や「塩の道」による交流が盛んであった南信から三遠を結ぶ長野県南部、静岡県西部、愛知県東部一帯の地域は、東西の大動脈が通る沿岸部では自動車産業をはじめとする産業が集積し活発な経済活動が営まれています。一方、天竜川上流や中山間部では中央構造線がはしる脆弱な地形に加え、過疎化の進行で水源地である森林が荒廃し、土砂堆積によるダム機能の低下、河川の正常な流砂機能が確保されていないことによる海岸の浸食が深刻化している地域です。

そうした中、水源地から河口・海岸までの土砂移動の連続性を確保する天竜川水系の総合的な土砂管理の取り組みと遠州灘海岸の浸食対策が急務となっています。さらに通行不能区間を解消し、三河港や御前崎港などの港湾や富士山静岡空港を結ぶとともに、上流から下流までの流域圏が一体となる交通ネットワークの形成により、南信から三遠を結ぶ当地域と名古屋都市圏や国内外との連携強化が重要です。

### 【プロジェクトがもたらすべき効果と地域の将来イメージ】

健全な流砂系の確保と多様な生態系の保全、日本古来の海浜が再生されることで、環境にやさしく災害に強い地域となることが期待されます。また、リダンダンシーを兼ね備えた太平洋と日本海を結ぶ新たなネットワーク形成により、人・モノが交流するかつての「塩の道」が復活。都市部と中山間地域が相互に補完・連携し合うモデル圏域が形成され、地域の魅力と成長力の強化が期待される。南信から三遠を結ぶ当地域が、環境にやさしく、地域の魅力と成長力が向上することで、環境先進地域としての中中部圏の持続的発展が期待されます。

### 【不断のフォローアップによる将来イメージの達成度評価】

南信から三遠を結ぶ地域で展開する様々なプロジェクトによる効果を、洪水の氾濫や土砂災害に対する安全度や水辺の再生の割合といったアウトカム指標と、住民意識(満足度)調査などにより、時代のニーズや地域の課題を常に把握しながら内容の改善、評価、見直しを常に柔軟に行っていきます。こうした過程を通じて、当地域に必要な社会資本の整備を図り、中中部圏の将来像の実現をめざします。

### ③名古屋都市圏一帯を取り巻く地域(仮称)の将来イメージ

#### 【地域の概要―強みを活かし、弱みを克服すべき取組】

日本の東西大動脈と、太平洋岸と日本海岸を結ぶ南北軸が交わる愛知・岐阜・三重の名古屋を中心とする当地域は、**ものづくり産業が集積**し、日本の貿易黒字の8割相当を占める名古屋港をはじめ、**国際港湾や中部国際空港を有する地域**です。しかし、**我が国最大のゼロメートル地帯**であるとともに東海・東南海地震の発生が危惧され、**大規模な自然災害による生命や財産の危機**、人流・物流の寸断、**経済活動の停滞が懸念**される地域です。

このため津波・高潮・洪水対策や河川堤防・護岸等の耐震強化など**災害を克服する対策**および平成6年のような異常渇水時における河川環境の改善および水供給の安定化が急務であるとともに、**交通網の強化や代替補完機能の確保**、災害発生後の迅速な救援・復旧活動を可能にする体制強化や復旧の長期化防止への対応が急務です。また、急速に進む橋梁等の社会資本ストックの老朽化に対応するため、適切な維持管理も重要な課題である。日本のものづくりの中心である名古屋を中心とする地域一帯の安全安心基盤を整えることにより、中部地方全体の**国際的に高い産業競争力強化**と東アジアをはじめとする**世界各国との連携強化や信頼確保が重要**です。

#### 【プロジェクトがもたらすべき効果と地域の将来イメージ】

環状道路などにより交通網の代替補完機能が確保され、津波や高潮災害、豪雨等による浸水対策が強化されるとともに、国際港湾・国際空港機能が強化されます。また産業と生活に欠かすことのできない水が安定的に確保されることから、当地域の安全・安心基盤がより一層向上し災害に強い地域となります。その上で**交流圏域が拡大**し、企業進出や宅地開発、新たな産業が創出され成長力を強化することで、より一層**国際的に強いものづくり産業の発展**が期待されます。また、中部のまち・みず・みち・みなどが身近となり、暮らし、観光、商業などがより近接した地域が形成され、名古屋を中心とする都市圏一帯である愛知・岐阜・三重の**産業や観光など様々な魅力と信頼が向上**することが期待され、中部圏の更なる持続的発展が期待されます。

#### 【不断のフォローアップによる将来イメージの達成度評価】

名古屋都市圏一帯を取り巻く地域で展開する様々なプロジェクトによる効果を、**都市圏二環状道路の整備率や洪水の氾濫に対する安全度、外貿貨物や観光客の増加率など国内外の物流・人流の変化といったアウトカム指標**と、住民意識(満足度)調査などにより、時代のニーズや地域の課題を常に把握しながら内容の改善、評価、見直しを常に柔軟に行っていきます。こうした過程を通じて、当地域に必要な社会資本の整備を図り、中部圏の将来像の実現をめざします。

## ④東海と北陸を結ぶ地域(仮称)の将来イメージ

### 【地域の概要－強みを活かし、弱みを克服すべき取組】

自動車等のものづくり産業の集積地と、豊かな自然景観や歴史文化遺産を併せ持つ岐阜県や愛知県西部は、東海北陸自動車道全通により北陸地域と直結され、**環日本海経済圏との連携強化による、人・モノ・情報の新たな交流と産業等の創出**が期待される地域です。一方、東海地方の水源地であり急峻な山岳地帯を有していることから、**森林の荒廃や土砂災害、降雪等による交通障害など様々な災害**も危惧されています。

そうした中、東アジアの経済発展を見すえた国際的に高い産業競争力の向上と観光交流の拡大には、北陸圏を結ぶ南北軸と中部国際空港や伊勢湾スーパー中樞港湾とを有機的に結ぶ環状道路などのアクセス強化が求められています。また、土砂崩落等の風水害や雪害対策と交通の代替補完機能の確保により、岐阜県と愛知県西部、北陸圏などとの連携強化が急務です。

### 【プロジェクトがもたらすべき効果と地域の将来イメージ】

当地域と北陸圏や東アジアをはじめ環日本海経済圏との交流が強化され**交流圏域が拡大**します。また、地域内の安全安心の基盤が整備されることと相まって、更なる産業立地・創出が図られるばかりか、東海地方の水源地である揖斐川上流域の保全と利活用を通じた交流の場の創出とともに、白川郷などの**歴史文化遺産や豊かな自然景観を活かした多様な観光ルート**が提供できることから**観光地の活性化**が期待されます。東海と北陸を結ぶ当地域の様々な魅力や暮らしが向上し発展することにより、中部圏の更なる持続的発展が期待されます。

### 【不断のフォローアップによる将来イメージの達成度評価】

東海と北陸を結ぶ地域で展開する様々なプロジェクトによる効果を、**洪水の氾濫や土砂災害に対する安全度、景観保全や観光客の増加といったアウトカム指標**と、住民意識(満足度)調査などにより、時代のニーズや地域の課題を常に把握しながら内容の改善、評価、見直しを常に柔軟に行っていきます。こうした過程を通じて、当地域に必要な社会資本の整備を図り、中部圏の将来像の実現をめざします。

## ⑤東海と近畿を結ぶ地域(仮称)の将来イメージ

### 【地域の概要－強みを活かし、弱みを克服すべき取組】

2008年2月の新名神高速道路が開通で、より一層、近畿圏との連携が強化された三重県北中部や岐阜県西部には、**IT産業や自動車産業が多く集積**し、また、滋賀県方面からの港湾・空港への物流も増加傾向にあります。

そうした中、国際的に高い産業競争力の向上に資する伊勢湾スーパー中枢港湾の機能拡充や国際港湾、中部国際空港の機能拡充とアクセス強化が求められています。また、**南北を結ぶ高規格ネットワークが脆弱**であり、かつ、高潮等の風水害が懸念されることから、南北軸ネットワークの強化と代替補完機能の確保による岐阜県西部・三重北中部と名古屋都市圏や近畿圏との連携強化が急務です。

### 【プロジェクトがもたらすべき効果と地域の将来イメージ】

当地域と名古屋都市圏、近畿圏をはじめ**国内外との物流ネットワークが強化**されることと、地域内の交通円滑化、安全安心の基盤が整備されることで、更なる産業立地・創出が図られることに加えて、人・モノ・情報の交流が活発となり、**産業や観光など様々な地域の魅力が向上**することが期待されます。東海と近畿を結ぶ当地域がより発展していくことにより、中部圏の更なる持続的発展が期待されます。

### 【不断のフォローアップによる将来イメージの達成度評価】

東海と近畿を結ぶ地域で展開する様々なプロジェクトによる効果を、**都市圏二環状道路の整備率や洪水の氾濫や高潮災害に対する安全度や、外貨貨物の増加化といったアウトカム指標**と、住民意識(満足度)調査などにより、時代のニーズや地域の課題を常に把握しながら内容の改善、評価、見直しを常に柔軟に行っていきます。こうした過程を通じて、当地域に必要な社会資本の整備を図り、中部圏の将来像の実現をめざします。

## ⑥伊勢湾・三河湾流域(仮称)の将来イメージ

### 【地域の概要－強みを活かし、弱みを克服すべき取組】

愛知・岐阜・三重県の山々を水源とする数々の河川が流れ込み、外海との海水交換が少ない閉鎖性海域である伊勢湾・三河湾は、急速な経済発展とともに赤潮や苦潮の発生や、干潟、浅場、藻場、自然海岸が減少するなど、**自然環境に大きな課題を抱える地域**となっています。一方、美しい自然景観と水辺環境を有しており**人々の憩いの場**となっています。

そうした中、山・川・海が連携し、流域圏が一带となった環境対策による伊勢湾・三河湾再生のため、上下流域が連携し、森林の計画的な間伐等による水源地の保全や災害対策、中下流域での下水道の整備や自然の浄化機能を活かした**水質浄化対策、多様な生態系の保全・回復、水や土砂の連続性の確保、浅場・藻場・干潟の再生などが重要**です。また、だれもが水辺に親しめる憩い安らぎ空間の保全・拡充も求められています。

### 【プロジェクトがもたらすべき効果と地域の将来イメージ】

健全な水・物質循環の構築が図られ、生態系の保全と良好な漁場の確保が期待されるとともに、憩い安らぎ空間も拡充することから、伊勢湾・三河湾に多様な生態系が回復し、より一層伊勢湾・三河湾が身近なものとなり、伊勢湾・三河湾を誇りに思う社会が形成されます。また道路ネットワーク形成により交通を円滑化することで温室効果ガスの排出を抑制するとともに、沿岸部と内陸との交流をスムーズにすることで、**伊勢湾・三河湾を含めた周辺地域の環境保全と観光面の魅力が向上**することなどが期待され、環境先進地域としての中部圏の持続的発展が期待されます。

### 【不断のフォローアップによる将来イメージの達成度評価】

伊勢湾・三河湾流域で展開する様々なプロジェクトによる効果を、**津波・高潮災害に対する安全度**や**水辺の再生の割合**といった**アウトカム指標**と、住民意識(満足度)調査などにより、時代のニーズや地域の課題を常に把握しながら内容の改善、評価、見直しを常に柔軟に行っていきます。こうした過程を通じて、当地域に必要な社会資本の整備を図り、中部圏の将来像の実現をめざします。

## ⑦富士山麓と伊豆半島、丹沢周辺を結ぶ地域(仮称)の将来イメージ

### 【地域の概要―強みを活かし、弱みを克服すべき取組】

世界的に知られる富士山をはじめ自然景観と温泉資源に恵まれ、首都圏に近いことから**古くから観光地として発展**してきた静岡県東部を含む富士山麓と伊豆半島、丹沢周辺を結ぶ地域は、活発な太平洋沿岸の**産業・経済活動の一翼を担う地域**ともなっています。

そうした中、**南北の交通軸が弱く**、地域内交通と産業物流、観光交通が輻輳し各所で恒常的な渋滞が発生しており、観光産業の衰退等を招きかねない状況である。住民の生活交通確保はもとより観光地へのアクセス改善、市街地の交通混雑解消に向けた道路や鉄道などによる**交通ネットワーク形成が急務**となっています。また、発生が懸念される富士山噴火や土石流災害、東海地震への対応など安全安心基盤の整備も求められている。富士山静岡空港の2009年開港を契機とした東アジアなどとの新交流時代を目前に、富士山麓や伊豆半島、丹沢周辺を結ぶ地域と国内外との交流基盤強化により、我が国を代表する**国際観光・交流拠点としての一層の取り組み**が求められています。

### 【プロジェクトがもたらすべき効果と地域の将来イメージ】

国内外からのアクセシビリティが向上し、大規模自然災害等への対策により災害に強く交流が活発な地域が形成されることにより、富士山麓や伊豆半島、丹沢周辺を結ぶ地域の**豊かな自然環境を活かし、かつ、他地域の観光資源と連携した多様な観光ルートが提供**でき観光産業の更なる活性化が期待されます。さらに、憩い安らげる空間と相まった産業の集積が期待され、**住・職と癒し空間がー帯となった新たな地域モデルが形成**されます。富士山麓と伊豆半島、丹沢周辺を結ぶ地域が国際的な観光・交流拠点として様々な魅力が向上することで、交流が活発な中部圏の持続的発展が期待されます。

### 【不断のフォローアップによる将来イメージの達成度評価】

富士山麓と伊豆半島、丹沢周辺を結ぶ地域で展開する様々なプロジェクトによる効果を、**津波・高潮や土砂災害に対する安全度や水辺の再生や景観保全や観光客の増加といったアウトカム指標**と、住民意識(満足度)調査などにより、時代のニーズや地域の課題を常に把握しながら内容の改善、評価、見直しを常に柔軟に行っていきます。こうした過程を通じて、当地域に必要な社会資本の整備を図り、中部圏の将来像の実現をめざします。



## ⑧伊勢と紀伊半島中南部を結ぶ地域(仮称)の将来イメージ

### 【地域の概要－強みを活かし、弱みを克服すべき取組】

伊勢神宮や世界遺産の熊野古道で知られ、海と山が入り組んだ地形と有数の多雨地帯である気候風土が独特の景観美を育んでいる三重県南部は、全国的な観光地としての地位を築いてきた反面、ひとたび自然災害が発生すると複雑な地形地質構造が起因し交通網が寸断されやすく、沿岸部の集落が孤立する事態を招いています。

そうした中、観光などの交流を活発にし、「命の道」として災害時の緊急輸送や高度医療施設へのアクセスともなる高規格な道路ネットワーク等の確保が急務となっています。また、台風や豪雨などによる風水害と、東南海・南海地震の震源に近く地震や津波による大規模被害が危惧されており、治山治水対策や地震対策などによる災害対策が急務です。安全安心の礎に伊勢や紀伊半島中南部地域の地域内と国内外との交流基盤強化により、世界遺産などの地域資源を活かした観光・交流拠点のより一層の充実が求められています。

### 【プロジェクトがもたらすべき効果と地域の将来イメージ】

東南海・南海地震や豪雨による災害に強い地域が形成され、交流圏域の拡大を図り「命の道」となる道路と港湾による交通ネットワーク確保により、交流が活発な地域が形成されます。これらにより、世界遺産や特色のある地形風土を活かした観光産業の更なる活性化や創出が期待され、さらに、海洋深層水の商品化などにみる新たな産業分野の創出・集積が図られ、暮らしや地域活力の一層の向上が期待されます。伊勢・紀伊半島中南部と近畿圏・名古屋都市圏との連携強化により、代表的な観光・交流拠点である当地域の様々な魅力と活力が向上することで、交流が活発な中部圏の持続的発展が期待されます。

### 【不断のフォローアップによる将来イメージの達成度評価】

伊勢と紀伊半島中南部を結ぶ地域で展開する様々なプロジェクトによる効果を、洪水の氾濫や津波・高潮に対する安全度や地域固有の資源を活かしたまちづくりや観光客の増加に関するアウトカム指標と、住民意識(満足度)調査などにより、時代のニーズや地域の課題を常に把握しながら内容の改善、評価、見直しを常に柔軟に行っていきます。こうした過程を通じて、当地域に必要な社会資本の整備を図り、中部圏の将来像の実現をめざします。

## ⑨飛驒と長野、北陸沿岸を結ぶ地域(仮称)の将来イメージ

### 【地域の概要－強みを活かし、弱みを克服すべき取組】

日本アルプスの雄大な自然環境に抱かれ、四季折々の景観資源を活かし、古くから避暑地や冬季レジャーなどの観光地と発展してきた長野県北中部や岐阜県北部は、日本海に注ぐ河川の水源地であるとともに、周辺を標高2,000m～3,000m級の険しい山々で囲まれ**独自の歴史・文化が醸成しされてきた地域**です。

そうした中、こうした地勢的な特性を有する飛驒と長野、北陸沿岸を結ぶ地域には、地域内や他地域間を相互に結ぶ**交通ネットワークが不可欠**であるものの、現状では災害時の代替補完機能を含め発展途上にあります。また山間地域の過疎化が進行し**水源地の荒廃と地域の活力衰退が懸念**されていることから、関東・北陸・東海エリアとの交流基盤強化により、豊富な地域資源を活かした観光・交流拠点のより一層の充実が求められています。

### 【プロジェクトがもたらすべき効果と地域の将来イメージ】

森林の保全や流出土砂の抑制、河川整備等の治水・治山対策と、交流圏域の拡大を図る交通ネットワーク確保により、災害に強く交流が活発な地域が形成されることにより、雄大な**自然景観や独特な歴史文化を活かした観光地の活性化**が期待されます。さらに、関東・北陸・東海エリアとの交流連携が強化され、豊富な自然環境や農林業を活かした自然体験や滞在型観光などにみる**新たな産業の創出**や産業立地が図られ、暮らしや地域活力の一層の向上が期待されます。飛驒と長野、北陸沿岸を結ぶ地域が我が国を代表する観光・交流拠点として様々な魅力と活力が向上することで、交流が活発な中部圏の持続的発展が期待されます。

### 【不断のフォローアップによる将来イメージの達成度評価】

飛驒と長野、北陸沿岸を結ぶ地域で展開する様々なプロジェクトによる効果を、**洪水の氾濫や土砂災害に対する安全度や景観形成や観光客の増加といったアウトカム指標**と、住民意識(満足度)調査などにより、時代のニーズや地域の課題を常に把握しながら内容の改善、評価、見直しを常に柔軟に行っていきます。こうした過程を通じて、当地域に必要な社会資本の整備を図り、中部圏の将来像の実現をめざします。

## 2. 本懇談会の論点事項 (2) スピード感ある「選択と集中」による平成24年度までの重点戦略と目標

### 【「選択と集中」の背景】

…(略)…スピード感ある集中的な投資を図る「選択と集中」による戦略を立案し、中部地方の強みを活かして弱みを克服していくことに注力していく必要があります。…(略)…

### ■認識すべき緊急性

…(略)…「まんなかビジョン」は、中長期的な発展ビジョンを示すに留まらず、急速に悪化し先行き不透明感が募る地域経済の活性化を図るための道程を示していかななくてはなりません。…(略)…**社会基盤整備は、内需拡大による景気浮揚効果(フロー効果)と整備後の経済効果(ストック効果)をもたらす性格を有し…(略)…**即効性のある経済対策として時間軸を重視した施策の展開が肝要となると同時に、中長期的な発展に向けては中部地方の強みを活かした弱みを克服するための重点分野の選択が必要です。そうした中、整備までに時間を要す社会基盤整備において、**景気浮揚時にそのストック効果を発揮するには、先行的な整備開始が重要**であり、その時期は景況悪化による緊急的な経済・雇用創出が必要となる時期と重なります。

### ■中部地方の役割と発展シナリオを踏まえた「選択と集中」

③中部の特性に対応した選択と集中  
…(略)…中部地方の強みを活かして弱みを克服するための分野を選択し注力して行かねばなりません。具体的には、**国内外の連携軸強化による産業活力の増進と、災害に強く信頼性の高い安全・安心な圏域を確立**することが肝要です。…(略)…

### ④我が国経済の発展に貢献する選択と集中

…(略)…中部地方に立地するものづくり産業は輸出型産業に特化しているため、世界経済の動向との緊密性が高い。このため、世界経済の動向に対応した中部地方の産業活動の機動性を損なうことのないよう、地域づくりをサポートしていく必要があります。こうした観点からは、中部地方の産業の国際競争力を高めるべく、**国際競争力の強化**が重要であり、これを支えるため、広域的連携を図りつつ推進して行かねばなりません。

### ■地域経済の活況化に向けた「スピード重視」の公共投資

- ①即効性のある内需拡大策の展開  
…(略)…公共投資による生産誘発効果や雇用創出効果などによる**景気浮揚効果が即効性のある施策として重要**であり、従来にはない柔軟で機動的な姿勢で可及的速やかな対応を図っていく必要があります。…(略)…
- ②社会基盤整備後にもたらされるストック効果の前倒し化  
…(略)…ストック効果が早期に発現するべく迅速な整備(早期着工、工期短縮)を行うことが、地域社会経済にストック効果の享受を早期にもたらすこととなります。…(略)…必要な事業の速やかな事業化が求められ、地域を挙げた合意形成を急がねばなりません。



## 1. ものづくりをはじめ国際的に強い産業競争力ある地域づくり

人口減少下でも、ものづくりをはじめ、国際的に強い産業競争力ある中部を形成します。  
人口減少下においても、ものづくり産業の更なる発展とともに、優れた技術、人材、知能、産業をより集積することで、国際的に強い産業競争力で日本をリードする中部を形成するため、国内外との高速交通ネットワークが強化・円滑化された地域、国際的な交通基盤、物流拠点、生産・研究基盤が整った地域、水を安定して確保できる地域を目指していくことが重要です。

1. 当面5年後の具体的な目標値【平成20年度～平成24年度】  
**重点目標① 港湾・空港の機能を強化し、世界的に優れた国際物流ネットワークを形成します**  
港湾・空港の物流機能強化により、対東アジア戦略を含む円滑な国際物流ネットワークを形成します  
**重点目標② 国内交通ネットワークを強化し、スムーズな移動を可能にします**  
既存ストックを徹底活用するとともに、陸・海・空の国内交通ネットワークの強化と円滑化により、交通の信頼性向上と都市内外の交通円滑化を図ります  
**重点目標③ 陸・海・空が一体となった高度な物流システムを構築します**  
陸・海・空が一体となった高度な物流システムを構築します  
**重点目標④ ものづくりに不可欠な水の安定確保を図ります**  
ものづくり産業や日常生活に不可欠な水の安定確保を図ります

**1-1. 代表的な指標**  
「ものづくりをはじめ国際的に強い産業競争力ある地域づくり」を目指すため、平成24年度までの目標指標として、下記の代表的な目標数値を定め、各政策の達成状況を評価します。  
さらに、こうした指標のみでなく、地域住民への定期的な満足度調査を実施し、「産業競争力」に対する住民意識も政策評価に加味していきます。

- 【指標案】 ※<P>検討中
- 中部の外資コンテナ貨物量(TFU)の増加率
  - 名古屋都市圏二環状道路整備率
  - 道路渋滞による損失時間
  - 国内海上物流費用の削減率
  - 港湾関連手続きのシグナルウィンドウ化率
  - 漏水被害を軽減するダム貯水量確保率

## II. 災害に強い安全で安心な地域づくり

災害対策により、全ての社会活動の礎となる安全で安心な中部を形成します。  
今後、人口減少下においても克災・減災対策を実施し、被害を最小限に留め、社会活動を継続できる地域、そして、災害時の避難・救助及び復旧・復興を迅速かつ円滑にできる地域を目指すとともに、既存の社会資本の安全性を維持できる地域を目指していくことが重要です。

1. 当面5年後の具体的な目標値【平成20年度～平成24年度】  
**重点目標① 洪水・土砂災害・高潮、雪害などや濁水に強い地域を構築します**  
国土を保全し、豪雨や高潮・津波による風水害の発生抑制と防災上危険性が高い地区の解消等を図るとともに、雪害や濁水対策等を推進します。  
**重点目標② 大規模な地震にも強い地域を構築します**  
大規模地震の発生に対する安全性を確保します。  
**重点目標③ 様々な災害でも寸断されない交通体系等を構築します**  
日本の大動脈はもとより、物流拠点や公共交通等の安全性を強化し、ユーザーから信頼される交通体系を構築します。  
**重点目標④ 災害・事故に係る情報提供や災害対応体制を強化します**  
災害・事故に係る情報提供の高度化、避難・救助活動、復旧・復興活動の迅速化、円滑化、及び災害時の業務継続性を強化します。  
**重点目標⑤ 既存の社会資本ストック機能を維持させます**  
これまでに整備した社会資本を適切に維持・管理、更新し、安全性を持続させます

**1-1. 代表的な指標**  
「災害に強い安全で安心な地域づくり」を目指すため、平成24年度までの目標指標として、下記の代表的な目標数値を定め、各政策の達成状況を評価します。  
さらに、こうした指標のみでなく、地域住民への定期的な満足度調査を実施し、「安全・安心」に対する住民意識も政策評価に加味していきます。

- 【指標案】 ※<P>検討中
- 当面の目標に対する、洪水の氾濫から守られる地域の割合(洪水の氾濫から守られる区域の割合)
  - 下水道による都市浸水対策達成率
  - 津波・高潮による災害から一定の水準の安全性が確保されていない地域の面積
  - 大規模地震が特に懸念される地域における港湾による緊急物資供給可能人口
  - 耐震化(液状化対策等)された防護施設(堤防・護岸・胸壁)の延長(m)(うちゼロメートル地帯)
  - 土砂災害から保全される人口(万人)
  - 土砂災害から保全される人命保全上重要な施設数
  - 土砂災害特別警戒区域指定率
  - ハザードマップを作成・公表し、防災訓練等を実施した市町村の割合(洪水、内水、土砂、津波)
  - リアルタイム火山ハザードマップ整備率
  - 中部の道路橋の長寿命化修繕計画策定率
  - 港湾施設の長寿命化計画策定率

### Ⅲ. 地域資源を活かす自然と共生する環境先進地域の形成

文化・歴史資源を活かすとともに、自然と共生する環境先進地 中部を形成します。

美しく豊かな自然や文化・歴史資源を活かし、環境をテーマとした「愛・地球博」の理念を継承した環境先進地域として、環境と共生する中節を形成していくため、地球温暖化対策や循環型社会が構築された地域、流域圏が一体的に環境保全され自然や生物と共生した地域、魅力ある景観が保全・創出された地域を指します。

#### 1. 当面5年後の具体的な目標値【平成20年度～平成24年度】

**重点目標① 地球温暖化を抑制するため温室効果ガスの削減を推進します**

地球温暖化を抑制するため温室効果ガスの削減を推進します。

**重点目標② 大気環境の改善やヒートアイランドの抑制を支援します**

中部地方の大気環境の改善・ヒートアイランドの抑制を支援します。

**重点目標③ ごみの発生抑制・循環型社会の構築を支援します**

ごみの発生抑制・循環型社会の構築を支援します。

**重点目標④ 美しい自然環境を保全・創出し、多様な生態系を維持・再生します**

美しい自然環境を保全・創出し、多様な生態系を維持・再生します。

**重点目標⑤ 健全な水循環系を構築し、持続可能な環境を創出します**

都市と農山漁村地域が一体となり、健全な水循環系を構築し、持続可能な環境を創出します。

**重点目標⑥ 生活環境を改善します**

生活環境を改善し、環境にやさしい交通ネットワークの形成を推進します。

**重点目標⑦ 独自の地域資源を保全・再生・活用した魅力ある景観を創出します**

自然環境・歴史・文化資源を保全・再生・活用した魅力ある景観を創出します。

#### 1-1. 代表的な指標

「自然と共生する中部」を目指すため、当面5年後（平成24年度）の目標指標として、下記の代表的な目標数値を定め、各政策の達成状況を評価します。さらに、こうした指標のみでなく、地域住民への定期的な満足度調査を実施し、「環境・景観」に対する住民意識も政策評価に加味していきます。

【指標案】 ※<P>検討中

- 低公害車普及率（中部地方の車輛登録台数のうち低公害車の割合）
- 水辺の再生の割合
- 総合的な土砂管理に基づき土砂の流れが改善された数
- 路上工事時間（直轄国道）
- 景観計画に基づき取組を進める地域の数

### Ⅳ. 魅力あふれ賑わいと活気ある地域づくり

日本のまんなかで、魅力が溢れ、賑わいと活気ある中部を形成します。

日本のまんなかの地理的優位性を活かし、更なる都市の魅力向上と、地域間格差を是正するとともに、国内外の交流拡大と中部の国際的な魅力向上を可能とする交流・連携が活発な中部を形成するため、国内外との交通ネットワークが強化・円滑化された地域、国内外の人・モノ・情報の交流が活発で賑わいある地域、地域資源を活かした魅力ある各地域の創造を目指す。

#### 1. 当面5年後の具体的な目標値【平成20年度～平成24年度】

**重点目標① 人・モノ・情報の交流を拡大・活発化します**

地理的特性を活かし、人・モノ・情報の交流を拡大・活発化します。

**重点目標② 社会基盤整備で都市機能を高度化し、各地域の自立を促します**

魅力と活力を最大限に引き出す戦略的な成長基盤の整備と都市機能の高度化により、各地域の自立を促します。

**重点目標③ 中山間地や農山漁村の地域力を向上し、各地域の自立を促します**

中山間地域・農山漁村地域、離島の地域づくりや人材育成を支援し、地域の自立を促進します。

**重点目標④ 独自の地域資源を活用し、観光など地域の魅力を向上します**

自然環境、歴史文化、産業など地域資源を活用し、観光交流の拡大・地域の魅力向上を図ります。

#### 1-1. 代表的な指標

「魅力あふれ賑わいと活気ある地域づくり」を目指すため、平成24年度までの目標指標として、下記の代表的な目標数値を定め、各政策の達成状況を評価します。さらに、こうした指標のみでなく、地域住民への定期的な満足度調査を実施し、「交流・連携」に対する住民意識も政策評価に加味していきます。

【指標案】 ※<P>検討中

- 中部地方における宿泊者数の増加率
- 外国人観光客の中部地方への訪問率
- 地域住民組織等が主体となつて公共交通システム案の検討
- [再掲]名古屋都市圏二環状道路整備率

## V. 誰もが活き活きと快適に暮らせ愛着がもてる地域づくり

誰もがどこでも活き活きと快適に暮らせ、愛着を持てる中部を形成します。

生活に欠かせない学校や職場、病院など様々な目的地がある生活圏内を、誰でもいつでも安全で快適に移動できる地域社会を構築することは基本であるとともに最も重要である。また、多様化するライフスタイルと人口減少時代、少子化・高齢化に対応し、安全で子育てしやすい地域、誰もがどこでも快適で安心して暮らせる地域、住んでいる地域に誇りと愛着が持てる地域を目指す。

### 1. 当面5年後の具体的な目標値【平成20年度～平成24年度】

#### 重点目標① 子供のびのびと安全に成長できる社会の実現をめざします

次世代の抱い手となる子供のびのびと安全に成長できる社会を実現します。

#### 重点目標② 安全で住みやすい居住環境の実現をめざします

住宅や居住環境の質を高め、安全で健康な暮らしを実現します。

#### 重点目標③ 快適で安全に暮らせる生活圏の実現をめざします

様々な移動手段の快適性と安全性を向上し、ライフスタイルニーズの多様化に対応した豊かな生活空間を実現します。

#### 重点目標④ ユビキタスネットワーク社会に対応した情報提供を進めます

ユビキタスネットワーク社会に対応した情報提供を進めます。

#### 重点目標⑤ 誇りや愛着を持てる協働・参加型の地域づくりを支援します

国土マインドの醸成として、誇りや愛着を持てる協働・参加型の地域づくりを支援します。

### 1-1. 代表的な指標

「誰もが活き活きと快適に暮らせ愛着がもてる地域づくり」を目指すため、平成24年度までの目標指標として、下記の代表的な目標数値を定め、各政策の達成状況を評価します。

さらに、こうした指標のみでなく、地域住民への定期的な満足度調査を実施し、「暮らし」に対する住民意識も政策評価に加味していきます。

#### 【指標案】 ※<P>検討中

- 歩いていける身近なみどりのネットワーク率
- 下水道処理人口普及率
- 多数の者が利用する建築物・住宅の耐震化率
- 特定道路におけるバリアフリー化率
- あんしん歩行エリア内の歩行者・自転車死傷事故抑止率
- 道路交通における死傷事故率(中部5県)
- かわかちづくり整備自治体数